

パイプオルガン ブランチコンサート

with Soloists

午前中のひと時を パイプオルガンの響きとともに
ゴージャスに そして心安らかに...
ソリストたちとの アヴェ・マリアの聴き比べもお楽しみください



Organ: A. Yoshida



Trumpet: Y. Takeuchi



Sopran: M. Oka-Tsuboi



Sopran: M. Honda

3月30日 水

《Gloria in Excelsis Deo》
いと高きところには栄光
～オルガンとトランペットによる
賛美の響き～

M. A. シャルポンティエ テ・デウムより
カッチーニのアヴェ・マリア
E. モリコーネ ガブリエルのオーボエ 他
トランペット 武内安幸

6月4日 土

《Te Deum laudamus》
我ら神をほめたたえ
～大聖堂のコンサートをソプラノと～

J. S. バッハ 御身が共にいるならば BWV 508
Fr. シューベルト アヴェ・マリア
J. デメッシュー テ・デウム 他
ソプラノ 岡真里子

12月15日 木

《Et in Terra Pax》
地には平和あれ
～クリスマスの喜び～

歌とオルガンによるクリスマスキャロル集
アルカデルトのアヴェ・マリア 他
ソプラノ 本田美香
ハンドベル 名古屋女子大学音楽表現ゼミナール

10:30-11:30

開場 10:00

入場料 1000円

パイプオルガン 吉田文
& トーマス・マイヤー＝フィービツヒ



マイヤー＝フィービツヒ先生のミニ講座

今年生誕150年を迎える作曲家
カミロ・シューマンの
心に優しい小品を毎回1曲ご紹介いたします！



【チケット取扱い】

二宮音楽事務所 052-505-0151

チケットぴあ / 市内各プレイガイド



主催「名古屋オルガンの秋」実行委員会

マネージメント&お問い合わせ先 二宮音楽事務所 (052)505-0151

名古屋オルガンの秋ホームページ <http://organaki.exblog.jp>

チケットぴあ Pコード 3/30: 210-800, 6/4: 210-808, 12/15: 210-810

プログラムは予告なく変更になることがあります。
諸事情によりコンサート開催に変更がある場合はホームページでお知らせします。

愛知県芸術劇場コンサートホールには世界でも最大級の豪華なパイプオルガンが設置されています。
 厳かな祈りの音楽、癒しと安らぎの響き、天上の調べ、そして時には官能的な脈動...
 万華鏡のように多様な表情で、風の息遣いとともに私たちが包み込んでくれます。

「名古屋オルガンの秋」がお届けするパイプオルガンランチコンサートでは、午前中のひとときに、本格的なコンサートをお手軽に楽しんで頂けます。

93種類、6883本のパイプたちが、心に癒しと安らぎと、新鮮なエネルギーと元気のシャワーを与えてくれること間違いありません！



★ リクエストを募集します

毎回のコンサートで、皆様からリクエストされた曲も演奏します。リクエストは、パイプオルガンの作品には限りません。クラシック、ジャズ、ポップス等、どんなジャンルでもOKです。「こんな曲を愛知県芸術劇場のパイプオルガンで聴いてみたい!」というリクエスト、どうぞお寄せください。採用された方には、ご招待券をペアでプレゼントいたします。

募集要項

はがきに以下の事項をご記入の上、〒452-0805 名古屋市西区市場木町190-205 二宮音楽事務所「オルガンランチコンサート」までご郵送下さい。

- ① お名前 ② ご住所 ③ 電話番号
- ④ リクエスト曲名
- ⑤ もしあれば、リクエストの理由や由来、エピソード
- ⑥ コンサートでお名前の紹介可否

募集期間（必着）

それぞれのコンサート1ヶ月前まで

リクエストフォームもございます。QRコードを読み取ってください。



★ Performers ★

吉田文 Aya Yoshida, Organ

名古屋生まれ。幼少よりオルガニストを志し、中学卒業と同時に単身渡独。ケルン国立音楽大学カトリック音楽科、並びに大学院パイプオルガン科を卒業。A級カトリック教会音楽家国家資格及びドイツ国家演奏家資格取得。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を続けており、コンツェルトハウス・ベルリンをはじめとする各地のオルガンコンサート・フェスティバル等に多く招聘されている。平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞、令和3年度名古屋市民芸術奨励賞受賞。名古屋女子大学准教授、南山大学非常勤講師。「名古屋オルガンの秋実行委員会」主宰。

トーマス・マイヤー＝フィービツヒ Thomas Meyer-Fiebig, Organ

ドイツ・ビーレフェルト市マリエン教会の主任牧師を父とし、幼少の頃からパイプオルガンを始めとする教会音楽一般に多大な影響を受けながら育つ。デトモルト国立音楽大学へ作曲専攻にて入学、作曲をJ. ドリースラーとG. クレーベに師事。1978年来日、国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる一方、ドイツ各地の大学にても特別講義講師としてたびたび招聘されている。2015年退官、国立音楽大学名誉教授。作曲家としての活動の傍らオルガニストとしても活発な演奏活動を続けており、ドイツのエルツ山脈地方ナッサウのシルバーマン製作の歴史的オルガンにてCDを収録した。

武内安幸 Yasuyuki Takeuchi, Trumpet

トランペット、ホルン・タカッチャ奏者。国立音楽大学およびベルリン芸術大学卒業。トランペットを北村源三、フリッツ・ヴェーゼニック両氏に師事。在独中ベルリン交響楽団首席トランペット奏者、ベルリン・ドイツ・オペラ契約団員、パッサ・トランペットのソリストとして活躍。1994年-2001年パイロイト祝祭管弦楽団トランペット奏者。1999年-2016年愛知県立芸術大学音楽学部教授。

岡眞里子 Mariko Oka-Tsuboi, Sopran

ウィーン国立音楽大学大学院リート・オラトリオ科修了。オーストリア国家演奏家資格を取得。第3回新人音楽コンクール声楽部門第2位。在ウィーン中、教会でのミサ等ソリストを多く務めた他、1990年にウィーンペーゼンドルフアーザールにて三ツ石潤司氏とリサイタルを開催し好評を博す。以降「ドイツリートの日」等「ヴォルフ・メーリケの日」等リサイタルを意欲的に行い、2006年には名古屋市民芸術祭に参加公演とし、中部経済界12月号において「聴きごたえのある満足すべきコンサート」と高評を得た。多数のパッサハカンタータ・オラトリオ、モーツァルト、ハイドンの宗教曲の他、R.シュトラウス、G.マーラー等の作品でソリストを多く務める。その他アンサンブル、ジョイントコンサート、リサイタル等コンサートに多く出演。現在、名古屋女子大学准教授、愛知県芸術文化協会会員。

本田美香 Mika Honda, Sopran

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院博士前期課程修了。第11回大幸財団丹羽奨励生。《ナクソス島のアリアドネ》エヒョー役でオペラデビュー後、各種コンサートや2014年丹波明作曲の世界初演となった楽劇《白峯》に乳母役で出演。2016年バロックオペラ《ポッペアの戴冠》にドゥルシッラ役、2019年ワーグナー楽劇《神々の黄昏》第三ノルン・ウォークリンデ役として出演。またJ.S.バッハの受難曲など宗教曲のソリストも務める。東海バロックプロジェクト、J.S.Bach-Musikkapelleメンバー。